

陽だまり

春
2013 68号



春から当院で新たに働いているスタッフです。
地域住民の皆さまのために、笑顔で頑張ります!!

撮影：入江賢行（臨床工学技士）

当院の基本理念と基本方針

基本理念

最新最高の医療を、安全に提供する公的医療機関として能登全域の住民の健康を守ります。

基本方針

- 1 患者の皆さまの立場を第一に考えた医療を目指します。
- 2 たゆまぬ研鑽をとおして医療水準の向上を目指します。
- 3 最良でより高度な急性期医療を目指します。
- 4 医療機関との連携を密にして地域医療の推進を目指します。
- 5 公的病院を堅持しつつ健全な病院経営を目指します。
- 6 チーム医療に徹し、全職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

病院事業管理者ごあいさつ

新年度を迎えて



病院事業管理者
川口 光平

長く寒かった冬から心待ちにしていた春を迎え、そして今まさに新緑の5月を迎えようとしております。新年度を迎え、職員一同、地域の方々に役立てるようにと取り組んでおりますが、病院事業管理者として一言、ご挨拶をさせていただきます。

平成24年度の主な病院事業といましては、コンビニエンスストアの開業と透析室、内視鏡室の拡張を含んだ診療棟の増築でありました。これも3月21日には完成し、竣工式を迎えることが出来ました。当病院本館が現在地に移転新築してからもう13年が経過してしまいました。今回の透析室と内視鏡室の増築は将来を見据えて、安全で安心な透析療法の定着、精度の高い内視鏡検査を展開する方策として取り組んだ次第です。また、コンビニエンスストアも時間外の患者さま、職員のニーズに応え、より快適なサービスを受けられ

れる体制を作ろうとして取り組み、皆さまにも喜ばれております。

病院事業は日々新しく改善し、継続していく事が大事であります。移転新築後すでに13年が経過した状況では、いろいろな部分に問題が現れ、これを解決していかなくてはなりません。平成25年度の事業といたしましては、精神センターの外来待合室が狭隘な事を解決する目的で、精神センターの増改築を考えております。精神センターではデイケア、作業療法などを行っておりますが、これを別棟で増築し、その空いた部分を外来待合室やその他の部分にしようとするものであります。現在1日140名程度の外来患者さまが受診し、家族も一緒に来られる状況でこれを何とか解決しなくてはならないと考えております。

このような動きの中で、もう一方では医療安全を高め、医療の質を高めて行く取組にも積極的に取り組みたいと考えております。今年度は医療機能評価を受ける年でもあります。もう一度自分たちの行っている医療を原点から見つめなおして、改善していければと考えております。地域住民の皆さま方におかれましては、当病院に良かれと思われることはどんどん提案していただき、ご指導を賜われれば幸いに存じます。

病院長ごあいさつ

人の輪を大切に、 次の世代を育てます

このたび、病院長の大役を仰せつかることになり、国立病院機構金沢医療センターより赴任してまいりました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。名誉院長となられた藤岡前院長が築き上げた患者さまからの信頼をこれまでどおり堅持し、さらなる医療品質の向上をめざしますことをお約束いたします。

私はこれまで患者さまの治療にあたっては、医師、看護師、薬剤師、栄養士などが一つのチームとなって互いの英知を結集し、いかにその患者さま一人一人の治療に生かせるかという視点で仕事を続けてまいりました。また、現代医学をもつても完治が難しい病気であっても、患者さまの気持ちに癒されるような「心の繋がる医療」を提供することを心がけてきました。患者さまの中には能登か



病院長
吉村 光弘

ら金沢に遠路通院される方々もたくさんおられましたので、皆さまから「能登でも安心して品質の高い医療を受けることができるように」という願いを私に託していただいたものと思います。こうした熱く、強い願いを真摯に受け止め、能登の医療レベルの発展のため先頭に立つて不退换の決意で取り組んでいきます。

今、能登は人口流出への対策、地域間の医療格差の是正といった課題に直面しています。これらを解決するためには、人の輪を大切にして職員の一人一人の力が一つにまとまるように、そして次の若い世代を後継者として育て、しっかりと持続した力にしなければならぬと考えています。そのためには、お互いの理解と信頼を基本理念として、職員全員が生きがいを感じながら「明日もがんばろう」と思えるような環境作りと、教育研修制度の目に見える変革・充実に進めていきます。

皆さまから「能登総合病院が変わった」と言われるよう、初心を常に忘れることなく全身全霊を傾けていく決意ですので、深いご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



がん薬物療法専門医の紹介

「もともと、肺がん研究のために金沢に来たんです。最初から専門医を目指していた訳ではないなんて、ちよつと不謹慎かもしれませんね。」

それでも、多くの患者さまが病院を訪れるなかで、もつとがん患者さまの治療に携わりたい。一人一人の患者さまの治療に最後まで付き添えるようになりたい。だから、専門医になろうと思いました。」と、山田忠明先生はがん薬物療法専門医の認定を目指したきっかけを話してくださいました。

現在（平成25年2月）、県内では14名が認定医となっている「がん薬物療法専門医」。認定医となるには、がん診療に対する深い知識に加え、



金沢大学附属病院
がん高度先進治療センター
山田 忠明先生

薬物療法や緩和医療への十分な経験も必要となっています。山田先生は、その認定医の一人として昨年度から当院に赴き、地域のがん患者さまの治療に専念していらつしやいます。

「がん治療においては、肺がんは呼吸器、胃がんは消化器というように専門によって分かれていきます。しかし、がん薬物療法専門医を取得するためには複数のがんの診療経験が必要です。だからこそ、がん診療の初期から、終末期の緩和医療まで、一人の患者さまに最後まで関わられるようになれます。能登総合病院では、まだ多くの患者さまを診療できてはいますが、何人か私が受け持った患者さまの印象はとても穏やかで優しく、能登に住む皆さまの温かみを感じたように思います。」と笑顔を見せてくださいました。

山田先生の趣味はジョギングで、昨年は能登和倉万葉の里マラソンにも参加したそう。「昨年のマラソン大会で食べた牡蠣は本当に美味しかったです。今年も参加したかったのですが、急な予定が入ってキャンセルとなりました。」と残念そうなお話でしたが、来年の目標を尋ねると「能登和倉万葉の里マラソンで42

キロを完走することです。」と明るく答えていただきました。

最後に、当院で診療するにあたり、今後の展望を尋ねると、「現在、能登にはがん薬物療法専門医に認定されている医師はいません。微力ながらも、私が地域のがん診療に専念することで、住民の皆さまの安心・安全につながればと思つています。困ったことがありますたら、いつでも相談にいらしてください。」と、終始優しく語っていただきました。

山田先生は、毎週、臨床腫瘍科外来で診察にあたつていらつしやいます。当院のがん診療においてなくてはならない存在として、今後とも山田先生のお力添えをよろしく願います。

山田忠明先生診療時間

毎週火曜日午前9時～12時まで

※診察は予約制となっております。

詳細は当院Aブロックまでお問い合わせください。

(0767) 521-8702



診療棟等増築工事竣工式をおこないました

人工透析患者数及び内視鏡件数の増加への一日も早い対応が待ち望まれていたなか、昨年8月から取り組んでいた診療棟等増築工事が、この度無事に完了しました。

3月21日（木）15時より、組合議会、七尾市医師会来賓の方々にご臨席をいただき、竣工式を開催しました。竣工式では、組合長による式辞や経営本部長による診療棟等増築に至る経緯や増築部分の詳細についての説明ののち、参加者全員の乾杯で当院の新たな門出を祝っていただきました。

その後は、来賓の方々に新しくなった人工透析室と内視鏡室を見学していただき、「能登地域の医療充実のために、これからも一生懸命取り組んでほしい。」とのお言葉をいただきました。



します。よろしくお願ひします！

①医師資格取得年 ②専攻分野または得意とする疾病

内科



あさひ ひろあき
部長 朝日 俊明
①昭和61年
②総合内科



なかむら ゆういち
副院長 中村 勇一
①昭和55年
②消化器、肝腎臓



はしもと たくま
臨床検査部顧問 橋本 琢磨
①昭和43年
②内科、甲状腺



よしむら みつひろ
院長 吉村 光弘
①昭和56年
②慢性腎炎、関節リウマチ
膠原病などの免疫疾患



ふじおか まさひこ
名誉院長 藤岡 正彦
①昭和47年
②腎、高血圧、膠原病



むらもと しんじ
名誉院長 村本 信吾
①昭和43年
②内分泌代謝、めまい



ひらまつ しげる
精神センター長 平松 茂
①昭和59年
②精神科一般

精神科



さかい つとむ
医長 酒井 勉
①平成17年
②内科一般



やすだ ひであき
医長 安田 秀明
①平成16年
②内科、胃腸科



かきのき かへい
副院長 柿木嘉平太
①平成9年
②消化器、肝、内視鏡



いずみ やしあき
部長 泉谷 省晶
①平成8年
②腎、高血圧



なかしま りしん
部長 中島 理晋
①平成5年
②腎、糖尿病



やました しやうじ
部長 山下 朗
①平成2年
②循環器一般



むらた よしはる
副院長 村田 義治
①昭和50年
②循環器一般

循環器科



まえだ たかし
医師 前田 隆志
①平成23年
②精神科一般



にしむら まさし
医師 西村 正史
①平成13年
②精神科一般



はやし せい たらう
医長 林 征太郎
①平成17年
②精神科一般



こさか かずと
部長 小坂 一登
①平成2年
②精神科一般



ふくだ まさき
医師 福田 正基
①平成19年
②小児血液



いけ の
医師 池野 郁
①平成19年
②小児科



おかもと ひろあき
副部長 岡本 浩之
①平成11年
②小児一般



わだ ひで
部長 和田 英男
①平成4年
②小児一般

小児科



むろいし とよてる
部長 室石 豊輝
①平成7年
②神経内科

神経内科



よしむら ひろき
医師 吉村 大樹
①平成19年
②循環器疾患、内科一般



なかむら たかし
部長 中村 孝
①昭和48年
②骨腫瘍

整形外科



ひらぬま ちかし
副部長 平沼知加志
①平成10年
②消化器外科、
内視鏡外科



とくらく まさと
部長 徳楽 正人
①平成元年
②呼吸器外科



もりもと ひとし
臨床研修センター長 守友 仁志
①昭和59年
②消化器外科



ふるかわ ゆきお
部長 古川 幸夫
①昭和58年
②消化器外科、内分
泌外科



うしじま さとし
副院長 牛島 聡
①昭和54年
②消化器外科、内分
泌外科、乳腺外科

外科

私たちが地域住民の健康をサポート



副部長 渡邊 卓也

①平成10年
②脳卒中、脳腫瘍



副院長 橋本 正明

①昭和55年
②脳外科一般、脳腫瘍

《脳神経外科》



部長 山城 薫

①平成7年
②形成外科一般、手の外科、美容外科

《形成外科・美容外科》



医師 外館 幸司

①平成20年
②整形外科



医師 岡山 忠樹

①平成13年
②脊椎脊髄の病気



副部長 伊井 定雄

①平成8年
②関節外科



事業管理者 川口 光平

①昭和47年
②尿路結石、前立腺疾患

《泌尿器科》



医師 荒井美奈子

①平成13年
②皮膚科一般



副部長 越後 岳士

①平成9年
②皮膚科一般

《皮膚科》



副部長 富澤 英樹

①平成8年
②生殖内分泌、ART

《産婦人科》



医師 南部 育

①平成22年
②脳血管障害



部長 坂本 守

①昭和56年
②頭頸部腫瘍、副鼻腔疾病、内耳疾病

《耳鼻咽喉科》



医師 山田 美樹

①平成17年
②眼科一般



部長 佐伯 智幸

①昭和62年
②角膜疾病、白内障

《眼科》



医師 坂本 次郎

①平成22年
②泌尿器科一般



副部長 南 秀朗

①平成12年
②泌尿器科一般



副院長 上木 修

①昭和56年
②尿路性器腫瘍、排尿障害



医師 宮澤 広樹

①平成24年
②口腔外科



医師 小山 岳海

①平成19年
②口腔外科全般



医師 長谷 剛志

①平成13年
②口腔腫瘍、摂食、嚥下障害

《歯科口腔外科》



医師 茅橋 正憲

①平成20年
②放射線診断



医師 中村 功一

①平成14年
②放射線診断

《放射線科》



医師 稲垣 信吾

①平成22年
②耳鼻咽喉科



中田 貴裕

①平成25年



山瀬 喬史

①平成24年



臺之尊祥一郎

①平成24年



国田 優志

①平成24年

《研修医》



特別顧問 中泉 治雄

①昭和43年
②消化器外科、小児外科、内視鏡外科

《健診・内視鏡》

平成25年3月に 新しい診療棟が 完成しました。



既存の透析棟西側に増築されました新しい診療棟。人工透析室と内視鏡室の大幅なりリニューアルを行いました。地域住民の皆さまにより良い医療を提供できるように取り組んでまいります。

.....透析室の増築を終えて.....



人工透析室の歴史は、昭和49年7月に透析監視装置4台で患者1名からスタートされ、昭和58年透析監視装置9台、患者25名となりました。平成12年3月新病院移転となり、平成14年患者数の増加に伴い透析監視装置20台としました。

更に、患者数の急増に備えて平成17年3月現在の人工透析棟が竣工されるにあたり、透析監視装置を35台に増やしてきました。透析監視装置の数が増加するに伴い透析維持患者数も現在は、100名に迫ろうとしています。その他に腎機能悪化に対する緊急透析の対応を行っています。そして、今後の患者増加に対して、平成25年3月に透析監視装置を40台に増やし、人工透析室を拡張することとなり診療棟の竣工となりました。

人工透析室の拡張に伴い、スタッフステーションは、中央部に移動して全体を見渡せるようになりました。これまでプライバシーの確保に支障をきたすスペースでしたが、ベッド間のスペースが広くとれるようになり、患者さまからは、圧迫感が薄らいだとの声を聞きました。しかし、広くなつた分、端から端まで見にくくなり、声が届かないなどの不安をなくすための注意しなければいけないと感じ、スタッフの配置に気を配りながら対応をしています。

近年の人工透析維持患者の特徴においても高齢化が進み入院患者数が多くなり重症化に対応するために、重症室を2床にしました。



そして、感染症対応としてスペースを確保することも今回新しく配慮した点です。

透析室が増築され、機械が増えることで今後、維持透析の対応や、緊急透析の対応が求められてきますが、まずは、患者さまが安全に安心して透析が受けられるように環境を整えて対応していきたいと思っています。

.....内視鏡室がリニューアルしました.....

現在の医療において内視鏡診断・治療の進歩の高度化が求められています。当院では昨年は消化器内視鏡検査を約4,900件行いました。これまでの内視鏡室は3室で、検査室・患者回復室スペースが狭いため、対応には限界がありました。

平成25年3月に内視鏡室は3室から5室にリニューアルしました。



当院は、日本消化器内視鏡学会認定施設でもあり大幅な機器の更新、増設を行いました。最新の内視鏡機器（ハイビジョン対応内視鏡機器）はもとより、特殊光観察

技術（NBI）が搭載された新電子内視鏡システムを整備することで、従来のものより高画質で鮮明な画像が得られ今まで以上に診断・治療技術の向上に役立つことが期待されます。

患者さまの苦痛を軽減できる機器が増えたことで、今までより楽に検査を受けていただけるようになりしました。特に健診の方にお勧めの、細い内視鏡で安楽な検査ができる経鼻内視鏡は2本から3本に増やしています。



不安・苦痛の軽減のため鎮静剤を用いた静脈麻酔の使用が増え、静脈麻酔後の患者さまが休憩していただけるように10台のマッサージチェアを設置した、リカバリ室を設けました。また、各検査室にはBGMを流しています。内視鏡検査が苦手だった方や以前苦しい思いをされた方がより安全で安心して検査を受けていただける体制が整いました。

内視鏡洗浄室を独立させ、専任の洗浄スタッフがガイドラインに基づいた洗浄を行っています。内視鏡の洗浄消毒の質と信頼性を高める「洗浄・消毒履歴管理」を実施し、常に清潔なスコープを提供できるよう努めています。



患者さまのプライバシーに配慮し、独立した検査室を設けました。このうちの2室は広さに余裕を持たせ、ベッドの出入り可能となり、消化管出血などの緊急症例や内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、超音波内視鏡検査、大腸粘膜切除術、消化管・胆道狭窄、消化管悪性腫瘍、消化管内異物などのより高度な内視鏡検査・治療に対応できるようになっています。

内科・外科医師、内視鏡技師、看護師、看護助手、医療事務が連携をとって検査や治療にあたっています。今後も先進的で充実した内視鏡検査・治療を提供するため、スタッフ一同努力してまいります。

外来診療予定表

(2013.4.1)

受付	診察室	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
受付A 1 TEL52-8702	外科 1	守 友	当番医	平 沼	当番医	牛 島	当番医	徳 楽	当番医	古 川	当番医
	外科 2	古 川		守 友		徳 楽				大学医 呼吸器外科(不定期)	
	外科 3			山 田 臨床腫瘍外来				牛 島		大学医 心臓血管外科	
	歯科口腔外科	長 谷	手 術	長 谷	手 術	長 谷	手 術	長 谷	手 術	長 谷	手 術
	歯科口腔外科	小 山		小 山		小 山		小 山		小 山	
	歯科口腔外科	宮 澤		宮 澤		宮 澤		宮 澤		宮 澤	
受付A 2 TEL52-8702	整形外科 1	岡 山	手 術	伊 井	手 術 装具外来 14:00~15:00	岡 山	手 術	伊 井	手 術	外 館	手 術 装具外来 13:30~15:00
	整形外科 2	外 館		中村(孝)		中村(孝)		岡 山		伊 井	
	整形外科 3	中村(孝)						外 館			
	リハビリ科										
受付B 1 TEL52-8703	内科胃腸科	安 田		中村(勇)		中村(勇)		安 田		柿 木	
	皮膚科 1	非常勤医 9:00~	非常勤医 14:00~15:30	越 後	手術・検査	越 後	荒 井 15:00~16:30	越 後	越 後 15:00~16:30	越 後	手術・検査
	皮膚科 2	荒 井	手術・検査	荒 井		荒 井		荒 井		非常勤医 9:00~	
	形成外科 1 (初診)	山 城	山 城 14:00~17:00	山 城	手 術 14:00~17:00	山 城	手 術 13:30~17:00	山 城 (初診・再診)	→初診受付 10:30まで 手 術 13:30~17:00	山 城	山 城 14:00~17:00
	形成外科 2				予約診察 15:30~16:30 小学生~高校生	井 岡		竹村/森本			
	美容外科									(第1・3金曜)	
受付B 2 TEL52-8703	内科 1(初診)	泉 谷	当番医	吉村(光)	当番医	酒 井	当番医	藤 岡	当番医	中 島	当番医
	内科 2	藤 岡				藤 岡		遠 山 (胃・膠原病)		泉 谷	
	内科 3	吉村(光)		酒 井		大 畑 (血液内科)				橋本(琢)	
	内科 4	横 山		村 本		横 山		中 島		村 本	
	循環器科	村 田		村 田		村 田		村 田		村 田	
	総合診療科	山 下		中 島		山 下		吉村(大)		山 下	
受付C 1 TEL52-8704	神経内科 1	室 石 予約のみ		室 石 予約のみ		室 石 予約のみ				室 石 予約のみ	
	神経内科 2							高 橋 予約のみ			
	耳鼻咽喉科 1	坂 本	坂 本 14:30~16:30	坂 本	手術・検査	坂 本	坂 本 14:30~16:30	坂 本	手術・検査	坂 本	手術・検査
	耳鼻咽喉科 2	稲 垣	稲 垣 14:30~16:30	稲 垣		稲 垣	稲 垣 14:30~16:30	稲 垣		稲 垣	
受付C 2 TEL52-8704	脳神経外科 1			渡 辺		南 部		渡 辺		大学医	
	脳神経外科 2	橋本(正)				橋本(正)		南 部		橋本(正) 予約のみ	
	眼科 1			佐 伯	手 術	佐 伯	手 術	佐 伯	検 査		
	眼科 2	山 田	検 査	山 田		山 田				山 田	
受付D 1 TEL52-8705	泌尿器科 1	南	手 術 入院検査	上 木	往診 検査処置 入院検査 他科回診	南	手 術 入院検査	上 木	検査処置 入院検査 他科回診	南	手 術 入院検査
	泌尿器科 2	大学医 (初診)		南 (初診)		上 木 (初診)		南 (初診)		大学医 (初診)	
	小児科 1	池 野		福 田	1ヵ月検診	池 野	斉 藤 (心 臓)	福 田	当番医	池 野	
	小児科 2	岡 本		和 田		和 田		岡 本		和 田	
受付D 2 TEL52-8705	産婦人科 1	大学医 (山口)		富 澤	1ヵ月検診	大学医 (柴田)		富 澤		大学医 (高木)	
	産婦人科 2	富 澤		大学医 (藤田)		富 澤		大学医 (早稲田)		富 澤	
精 神 センター TEL52-6619	精神科 1	西 村				西 村	アルコール依存外来 西 村	西 村			
	精神科 2	平 松	平 松	平 松				平 松		平 松	
	精神科 3	小 坂		小 坂		小 坂				小 坂	
	精神科 4			林		林		林		林	
外来化学療法点滴室		平 沼	牛 島	徳 楽	牛 島	守 友	牛 島	古 川	牛 島	牛 島	牛 島
救命救急センター		院内医師	後 藤	後 藤	後 藤	院内医師	院内医師	院内医師	院内医師	院内医師	院内医師
健診部		内科医師		内科医師		内科医師		内科医師		内科医師	
放射線科		中村(月~金)・茅橋(月~金)									
		萱野(核医学)		南(血管内治療)		滝(核医学)		高仲(放射線治療)・松井(血管内治療)			

TELは外線番号 作業療法:1か月に1回 生田

●外来診療受付(平日の時間内)
一般診療受付 午前8時30分~午前11時30分
ただし、診療科によって 午前11時の科もありますので、ご注意ください。

2013 68号 陽だまり 8

この広報は高精細340線で印刷したものです。 環境保護印刷: クリオネマーク認証

